

令和 2 年度第 2 回

睦沢町総合教育会議議事録



睦 沢 町

令和2年度第2回睦沢町総合教育会議議事録

1. 日 時 令和2年12月3日(木)
開会 13時27分 閉会 15時2分
2. 会 場 睦沢町役場3階 308会議室
3. 出席者 睦沢町長 田 中 憲 一
睦沢町教育委員会 教育長 今 井 富 雄
教育委員 佐 藤 秀 文 (教育長職務代理者)
教育委員 久 我 哲 也
教育委員 藤 原 雪 枝
教育委員 飯 塚 史美代
(事務局)
総務課長 中 村 幸 夫
総務課副課長(財政班長) 秋 葉 秀 俊
総務課主査(総務班長) 池 澤 竜 二
教育課長(歴史民俗資料館長) 中 村 年 孝
教育課主幹(指導主事) 岡 本 哲 夫
教育課副課長(中央公民館長) 御園生 憲 利
教育課主査(学校教育班長) 芝 崎 洋 一
教育課主査(生涯学習班長) 若 菜 亜衣子
4. 議決事項 (1) 令和3年度教育重点施策について
(2) その他
5. 傍 聴 人 なし

【 13時27分 開会 】

岡本主幹 定刻前ですが皆様お揃いですので、始めさせていただきます。ただ今より、令和2年度第2回総合教育会議を開会いたします。

始めに、田中町長よりご挨拶をいただきたいと思います。

田中町長 令和2年度第2回総合教育会議の開催にあたり、ご挨拶をさせていただきます。

教育長、教育委員の皆様におかれましては、日頃より、町の教育行政の推進にご尽力いただき本当にありがとうございます。

さて、私も町長に就任して4か月が過ぎ、その間、総合教育会議を始め、町長部局の各会議へ出席させていただいたところです。また各課が所管する町の行政財産の視察を行い、こども園や学校の各施設も見学させていただき、ご意見を頂戴しているところです。

今後は、これらのことを踏まえて、町政の舵取り役を行ってまいります。これから色々なお話をさせていただきますが、教育と福祉に関しては力を入れてやっていきたいという考え方は一向に変わっておりません。

昨年度までは、この時期の総合教育会議は、予算要望に関する協議を行っていたようですが、既に、先月の教育委員会会議で来年度の予算方針について、皆様へ説明があったと聞いております。私自身も厳しい予算配分であると感じております。ですが、現在の町の財政状況全般を考えますと、私もとても苦しい立場であり、この配分は全体で取り組むため、教育行政も例外とすることはできませんので、予めお話をさせていただきます。睦沢町の限られた予算で十分な住民サービスを実施していくには、根本からの事業の見直しが必要となり、これは実際に事業を執行する担当課が最も把握していて、知恵も最大限活かせるものだと思います。また、近い将来の学校建設も視野に入れていかななくてはなりません。今回の議題である『令和3年度教育重点施策について』は、教育課において創意工夫による重点施策を作成していただいたものと思います。本日は、十分な意見交換をさせていただき、教育課題の解決と教育環境の向上のための協議とさせていただきたいと思います。

私も4か月、町の舵取り役として各施設を見させていただいております。このすばらしい睦沢町をどれだけ伸ばしていけるか、そこは教育にかかっているものと思っております。この町で育った子供達が、この町でどうやって活躍していくのか、その方向付けをするのが教育だと思っております。教育の予算は削減することなく、多くの予算を付けて教育関係の方々に子供達を育てていただきたいと思うところですが、何より10年先には学校の建設も予定しなければならない時期に入ってきています。そ

の将来を見据えて、今の厳しい現状を見た中で前に進んでいくスタートラインだということをご理解いただいて、厳しい財政の中でどれだけハードからソフトを活かした部分で教育に取り組めるかがこれからの厳しい時代の一步だと思っていますので、それをご理解いただいた中で協議をいただけるようお願い申し上げます。冒頭で話した通り教育と福祉の予算を削ることは、本当に心苦しいですし、私としては手をかけづら部分だと思っていますが、そこまでやらなければ、今の睦沢町は前に進んでいくことができないと思っておりますので、是非ともご理解いただき、前向きなご意見をいただきたいと思います。

岡本主幹 ありがとうございました。

次に、今井教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

今井教育長 本日は第2回の総合委教育会議を開催していただき、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大が止まらず、第3波と言えるその中で、こども園を含めた教育現場では通常のエ育業務に加え、感染症対策に万全を期するために教職員は限界に近いところで子供達と向き合い、教育活動を展開していただいております。改めて先生方を始め、関係の方々に感謝を申し上げたいと思います。また町からの感染症対策として政府の臨時交付金の配分をいただいたことへも感謝を申し上げ、その対策も進みつつあることをここに報告いたしたいと思ひます。さて、町長のお話にもありましたが、例年ですとこの会議は来年度の教育予算に関する要望書という形をとり、現状と課題、そして課題克服のための次年度予算作成にご配慮をいただくことへのお願いが主たる会議の目的でありました。しかしながら、今回は既に教育課に対して来年度の予算が配分されましたので、今回は、こども園から生涯学習までの教育委員会における令和3年度の重点施策の概要のご説明をいたした後、教育予算を編成する上での重点施策を申し上げ、来年度予算案も報告させていただきたいと思ひます。私もこども園、学校教育班、生涯学習班からの予算編成にあたり、ヒアリングを受けました。減額の中でいかに教育の質の低下を招かないように考え工夫し、提案する職員の真剣さに改めて信頼と感謝の念が強く湧きました。結果としては予算案では学校教育を重点に置かざるを得ず、コロナ禍への対策と対応もあり、生涯学習事業等へ予算を削減せざるを得ない結果になりました。町長始め、今日ご参加の総務課、教育委員の皆様には、課長並びに必要なに応じては各担当班長より編成上の説明をさせますが、ご理解を賜りたいと思ひます。改めて申し上げますが、教育予算における重点施策の遂行により園児児童生徒の学びの保障、教職員並びに保育教諭の働きやすい職場環境づくりに努めてまいりますので、ご理解と限りないご支援をお願いいたします。

して、挨拶といたします。

岡本主幹 本日の議事に入ります。議事進行につきましては、陸沢町総合教育会議設置要綱により、田中町長にお願いいたします。

田中町長 それでは、進めさせていただきます。挨拶の中でお話しさせていただきましたが、来年度予算から各課配分方式にお願いしたところです。若干説明をさせていただきますと、私が就任してから町の財布の中をしっかりと見るようにいたしました。このまま陸沢町が今までのとおり予算を付けていたら、人件費まで手を付けなければならぬ状況にあると判断したことから各課配分をして、各課の中で本当に必要な事業と、今までやってきた事業で見直しをする分に関しては見直しをしようじゃないかという、いわゆるスクラップ・アンド・ビルドの部分で各課共有していただき、来年度の事業を遂行してもらいたいと。その様な思いがあって配分方式といたしました。一律に来年度の予算を減額した訳でなく、教育の部分に関しては財調を取り崩して、多少ではありますが、上乘せをさせていただいて教育委員会にお願いをしたものであります。これをご理解いただいた中で、厳しいご意見もあるかと思いますが、忌憚のない、また子供達のために腹を割った会議になりますようお願いをしたいと思います。それでは議題に入ります。

議題（１）令和３年度教育重点施策について事務局の説明を求めます。

中村課長 令和３年度教育委員会重点施策について、説明させていただきます。教育委員の皆様には一度ご覧いただいておりますが、ヒアリングを行った結果、内容についての変更はございませんが、結果により言葉が若干変わってくるところがありますので、説明を加えて朗読をさせていただきます。

教育委員会内で１２月１日に予算のヒアリングを行い、事務事業単位で予算額も概ね確定したところです。次に表紙に令和３年度教育予算案概要となっている資料が重点に実施する事務事業、また減額、廃止など、検討した事務事業をまとめたもので、この次に説明をさせていただきます。

それでは、本書を朗読させていただきます。

貴職におかれましては、町教育行政発展のため平素より格別の御高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。町教育委員会では、学校教育の充実をはじめ、幼児教育・保育の無償化に伴うこども園の運営、また生涯学習においては、放課後児童クラブと従来のアフタースクールなどを併せた放課後の子ども事業の取り組みも開始し、更なる地域住民の学習機会の充実その提供に努めているところでございます。昨年度末に、２０２０年度から２０２４年度までの５カ年を対象期間とした第２次陸沢町教育大綱、そしてそれに基づく第２

期陸沢町教育振興基本計画を策定いたしました。第２期教育振興基本計画に基づき、本年４月からは園小中一貫教育校がスタートし、中学校も対象学校とした学校運営協議会の設置、小学校、中学校をコミュニティ・スクールとして運営を開始したところです。更にギガスクール構想における環境整備もご理解を賜り着実に進めることができ、今後はＩＣＴを活用した学習機会を充実させ、実践を進めます。こども園においても、０歳から１５歳を対象とした切れ目のない連続性、継続性のある園小中一貫教育の最初の段階として、０歳児から５歳児の発達段階に応じ、きめ細かい保育の実践に努めます。一方、生涯学習の振興では、青少年の健全育成、地域文化の振興と伝統文化の継承、運動・スポーツの各分野で、陸沢町教育大綱に則した学びの調査及び提供を推進いたします。つきましては、以上のことを踏まえ、令和３年度教育予算における重点施策を別記のとおり位置づけましたので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

令和２年１２月３日 陸沢町長 田中 憲一 様 陸沢町教育委員会

次に、重点施策について説明をさせていただきます。「郷土を誇りに思う心と人間力・社会力の育成及び生涯にわたる幅広い学びの推進」の教育理念を踏まえ、幼児教育・保育の充実、学校教育ではきめ細かな指導体制と学習環境の整備、生涯にわたり生きがいと健康を目指す生涯学習機会の提供として、令和３年度予算における教育行政の効果的な運用を実施するため、下記の事務事業を重点施策とし４つの項目で構成いたしました。

- １．教育委員会共通事項として、学校教育、生涯学習、こども園の３つの組織の共通施策になります。
- (1)園小中一貫教育及びコミュニティ・スクール、地域とともに歩む学校づくり推進事業の推進をすること
- (2)園児、児童生徒の学びの環境の維持は、特に学習環境における施策になり、情報化に対応したＩＣＴ利用環境の整備では研修会の実施も含めております。安全で快適な学習環境の整備では、主には施設の不良箇所の修繕等があります。特別支援教育支援員及び学習支援員の継続配置、英語教育の強化・充実を図るための外国語指導助手の継続配置
- (3)教職員及び保育教諭の働き方改革の推進では、教育委員会指導主事配置の継続配置、こども園の正規保育士及び養護教諭の配置、校務支援システムの充実
- (4)新型コロナウイルス感染対策の対応が共通の施策になります。

次の項目から各施設単位での目標となります。

2. 委員会事務局・学校教育関係予算は、特に学校運営に関する施策と放課後児童クラブの運営に関すること、食育の推進と、主食部分の一部無償化も本年度から開始しており、

(1) 食育の推進として、むつぎわ米を使用した学校給食の提供をこども園も同様に推進します。

本年度から所管が替わり代わり、

(2) 放課後児童クラブ運営の維持と、放課後児童クラブと放課後の子供の居場所づくりの事業を生涯学習とも連携し推進いたします。

3. こども園関係予算ですが、2点の推進には、職員の適正配置と会計年度任用職員の維持を含めてのものとなります。幼児教育、保育の無償化がスタートし、保育の需要の色が濃くなったように感じますが、こども園での教育・保育は、園小中一貫教育の土台となる大事な時期の子供達です。引き続き、

(1) 待機児童ゼロの維持

(2) 幼児教育・保育の質の保持を推進いたします。

4. 生涯学習関係予算では、活動団体への補助金の減額又は廃止、施設使用の減免措置や使用料の見直しの検討を含めたものです。継続と廃止、縮減もありますが、今後は益々、生涯学習への期待と需要の増加が見込まれる時代だと感じております。

(1) 社会教育事業、文化財保護、歴史民俗資料館事業の維持をし、スポーツ関係団体の連携では、帝京平成大学との連携により、児童生徒の肥満対策の調査、分析、運動実践までを実施します。町史編纂の取組も進めます。

(2) 社会教育施設、公民館バス保持のための検討では、公民館施設も45年が経過し、途中大きな改修工事も行っていますが、躯体部分も老朽化が進み修繕が必要な箇所も増えております。使用料の見直し、減免の考え方の検討を開始し、バスについて1台は使用の方法を変更いたします。

以上のことが、令和3年度に重点に実施する事務事業です。

続きまして、令和3年度教育予算案概要について、ご説明させていただきます。

配分の方針が示され、教育委員会の予算には、9款教育費に1項から6項まで、また2款として、奨学資金貸付基金事業があります。説明については、9款の教育費とさせていただきます。

この予算案は12月1日に事務局、学校、こども園、公民館、資料館など、施設毎にヒアリングを行いました。教育委員会としてただ今説明いたしました重点施策を推進する結果を反映したものとなっております。予算を反映し推進する事務事業、予算の反映

は無いものの継続しながら推進する事務事業、教育費全体の中で各事務事業との整合性、事務事業の整理・工夫・バランスなど、教育費を様々な観点から検討し、見直し、予算編成を行いました。この表は、施設毎に整理してあり、事業名、一般財源での予算案と本年度との比較、事業内容の記載で、事務事業によって、青書きと朱書きがあります。青書きは増額の要因を、朱書きは見直した結果として分けて記載をさせていただきました。事務事業毎に、説明させていただきます。

教育委員会事務は、関東甲信越静の教育委員会総会が千葉県開催によって旅費の減額が主なものです。

事務局運営事務は、園児等の送迎にバス1台を委託していますが、その委託を止め、このコロナ禍で運行が減少した町の小型バスを送迎用のバスに変更するものです。よって、土曜日、日曜日も含め基本的には一般の利用には提供しないことといたします。

外国語指導助手招致事業は、2人のALTを配置しておりますが、1名は中学校専任、1名はこども園と小学校を兼務しており、英語教育の推進は教育振興基本計画でも重要な位置づけであり継続いたします。減額は来年度の参考見積もりを徴し、減額となった分です。

給食事務は、本年度から食育と農家の育成の観点も含めておりますが、睦沢産米を園小中で提供し、米の経費は町が負担する事業として開始いたしました。継続して実施いたします。

放課後児童健全育成は、本年度から福祉課から所管換えし、教育委員会で放課後児童クラブを運営することとなり、ふれあいスポーツクラブへ委託しています。増額については、指導者の1人が支援員の資格を取得する見込みであり、賃金の増額を見込んだものです。なお、生涯学習事業での放課後の子供の居場所に関する事業との連携も推進いたします。

小学校管理事務は、ICTを活用した授業の推進及び調査、また皆様に学校訪問を実施いただいたときにご指摘いただいた箇所や学校からの要望があった箇所を全てとはい切れませんが、修繕する経費を見込みました。また中学校では既に実施しておりますが、水泳の授業を総合運動公園プールで実施することも検討しております。ここは、まちづくり課とも協議する予定であります。

総合的な学習は、芸術鑑賞を生涯学習事業で補助金を活用して実施いたしますので、単費分を減額いたしました。

中学校管理事務は、教科書改訂があり、そのための指導書などの購入の経費が増加しております。

文教施設整備事業は、本年度も実施しておりますが、教室等の吊り下げ式の照明を埋め込み式に変更する工事を引き続き実施します。

総合的な学習は、芸術鑑賞を実施いたします。小学校と同様です。

スクールカウンセラー事業は、カウンセラーの派遣自体は県費ですが、事務に対して必要となる事務経費の支援を行います。

生き生き体験学習事業は、職場体験授業を継続して実施するために、例えば食品に関する事業所では事前に検便などの検査も必要となり、検査に対し必要な経費への支援を行います。

中学生海外交流事業は、シンガポールビーティー校との交流になります。交流自体は、新型コロナウイルスの感染症改善の見通しが立たないことから中止いたしますが、実は本年度実施していれば30回目の交流でした。次年度ではオンラインでの交流と記念品の作成を見込み、40千円程度で基金を活用し、計画したいと考えています。

特別支援教育支援員・学習支援員は、学校との協議により支援員の配置を継続する予定でおります。この特別支援教育では、今は特別という言葉が付いておりますが、今後は現在既にご承知かも知れませんが、特別という言葉は無くなり、その子の個性に合わせた支援が通常になるというようにも言われています。

司書については、小学校中学校兼務で配置の継続を予定したいと考えております。

こども園管理事務は、待機児童ゼロと、幼児教育・保育の質を維持します。昨年の幼児教育・保育の無償化により11時間預かりの子と、1号認定でも延長した預かりの子が増加し、特に未満児では、出生者のうち、これまでは0歳で3割程度、1歳児で5割程度、2歳児で7割程度が入園し、統計的な人数から未満児については60名を定員としておりました。しかし、来年の登園者の見込みは10月現在で、既に60名を超えており、令和3年10月の園全体の在園者見込みは、本年度より10名多い186名を数えております。出生者数は減少傾向にあるとは思いますが、この度の法改正により家庭での保育を行っていた未満児を預ける世帯が増加したこと、つまり共働き世帯が増加するというもので、保育教諭の数も当然ですが、施設の収容人数への対応も早ければ、2～3年後には大きな課題となる見込みもヒアリングの中で出てまいりました。

文教施設整備事業は、加圧給水ポンプの修繕を見込んでおります。

子育て支援事業は、こども園にとっては入園していない子どもと保護者との関わりも多くあり、いずれ入園したときに、スムーズな預かりを実施するために継続して実施いたします。

特別支援教育支援員は、こども園とも協議し、継続して実施する予定です。

社会教育総務事務は、成人式、初夢コレクションなどは継続して実施しますが、睦和大学については中止します。それに代わる事業として公民館事業の中でスマートフォンなどの使い方の講習会を高齢者を対象に行う予定です。減額についてはエアコンなどの修繕を本年度行っており、その分の減額が主な理由です。

青少年相談員活動事業は、引き続き青少年の健全育成をテーマに活動を行いますが、サマーキャンプや雪国体験は県外への移動や宿泊を伴う活動であることから、活動内容を見直し、バスの借上げ料などの経費を削減しました。

放課後子ども教室推進事業は、アフタースクールの実施、放課後児童クラブとの連携によるスポーツ教室の開催などを引き続き推進します。

地域と共に歩む学校づくり推進支援事業は、学校運営全般の支援として、コミュニティ・スクールの推進と連携した活動を推進します。

家庭教育支援チーム設置推進事業は、家庭教育における今日的な課題を検証しながら、情報発信を行い、家庭教育の向上を目指すための活動を行っていきます。

地域未来塾は、中学生への学習支援を主な活動として推進します。減額は講師の依頼回数の減少によるものです。

保健体育総務事務は、スポーツ関係団体連携会議を継続して実施し、本年度は児童生徒の肥満をキーワードとして、調査、検証、運動実践など、帝京平成大学との連携により実施します。複数年度で実施する計画をしています。また総合型地域スポーツクラブと中学校運動部活動の連携を文部科学省が打ち出し、本町ではふれあいスポーツクラブとその受け入れについて協議を行います。またふれあいスポーツクラブへ運動教室等を委託し、スポーツ振興を推進します。減額については、長生郡スポーツ協会への負担金の減少と、ふれあいスポーツクラブへ委託する事業内容の検討により減額しました。なお令和3年度と4年度は、長生郡スポーツ協会の事務局を本町で実施します。

健幸むつざわロードレース大会事業は、新型コロナウイルス感染症の状況が不透明であること、雨天時での参加者、運営委員の集団化を避けることや、その感染対策費をどれだけ見込む必要があるか検討した結果、中止と判断しました。

公民館事務は、新型コロナウイルス感染対策に係るガイドラインを本町でも作成しています。施設の運営やバスの運行もこのガイドラインに則って行っており、サークル団体以外での利用者数は減少し、バスの運行も減少しています。この状況が来年度に回復することは見込めず、感染対策に係るガイドラインを来年度も生かした運営を考え、施設管理に係る業務委託や光熱水費、バスについては1台をスクールバスで運用することから、予算を減額しました。

公民館イベント事業は、ふるさと芸能発表会、創作美術展などは室内での事業となり、感染対策をした上で実施の予定です。減額の主な理由は、宝くじ文化公演コンサートと今年度実施の県民芸術劇場公演の経費の差額が減額となっています。

社会教育施設整備事業は、来年度の計画はありません。

文化財保護事務は、観月のタベコンサートは、昨年度、自然災害により直前で中止しました。その際にチケットの払い戻しを行い、出演者へのキャンセル料の支払いなど、開催のリスクを検討し、来年度は中止と判断しました。

歴史民族資料館事務は、保管している刀剣の研磨の減額です。

社会教育施設整備事業は、来年度の計画はありません。

歴史民俗資料館イベント事業は、予定した特別展、企画展などは今のところ計画通り実施する予定です。

令和3年度教育予算の配分は24,155千円の減額ですが、この資料からは、その全ては見えませんが、ヒアリングを実施した結果から現在、最後の調整をし、予算配分額に到達する見込みです。

なお、学校、こども園、公民館などの感染対策の経費について、こども園と学校では400千円程度、公民館では200千円程度を予算で盛り込んでおります。

田中町長 説明が終わりましたので、協議に移りたいと思いますが、最初に私から、お話をさせていただきます。

教育予算における重点施策について十分に説明をいただき、しっかり受け止めさせていただきたいと思います。令和3年度予算の説明をしていただいた訳ではありますが、このコロナ禍で新たな生活スタイル、事業体系が盛り込まれた予算になっていると思います。話し合いをしていただいた結果が、予算の中にしっかり組み込まれていると実感するところです。腹を割って話をさせていただいて予算に当たっていただいたんだと思います。これから教育現場でも様々なコロナの対応策等で増額になる中、しっかりと見直しを図るところは見直したと思っております。冒頭に話しましたが、この町を担っていく子供達を教育の部分でしっかりと手厚いことをしていけたらと思っています。冒頭の挨拶で話をさせていただいたとおり、小学校中学校こども園等と現状を理解して来年の予算を組みたい、来年に向けて方向性をプラスアルファしたいところはしっかりと状況を確認して、見てきたところであります。特にこども園については待機児童ゼロの維持というのは町の方向性としても今まででも大事にしてきたところで、ここはしっかりと待機児童ゼロで当たっていただきたいと思います。その部分に関して保育士が足りない部分に関しては、そこは改めてみたいと思いますが、

今どうしても国の規制があって1人で3人しかみることができない、1人で6人という決まりはしっかり守らなければいけないので、別に人数が決まる前をもって計画を見直さなくてはいけないと思っていますところです。ただ働き方改革の部分で言っても今のこども園の職員のローテーションを見させていただくと、本当に切り詰めた中で、本当に考えて当たっていただいているのは十分実感しているところです。現場に時間が取られて作成しなければいけない書類等が時間外で、また労務過多になっていることも表から読み取れるところもあったので、その取り組みについては感謝をするところだし、その取り組みを推進してくれた現場に関しても敬意を表するところであります。そこを理解した中で申し上げますが、何よりもこの予算配分の中でいろいろと事務経費の見直しや、改めて人件費の見直しも今ある事務局の中の人員を現場の方に回せる回せないの部分も再度そこは見えていただいて、最終的に待機児童ゼロの維持のためにはどうしてもというところを、また話し合いをさせていただけたらと思います。全体の枠の中での人員配置のあり方ではなくて、もう一度更に話し合いを進めさせていただけたらと思います。厳しいことばかりで申し訳ありませんけれども、併せてお願いをしたいと思います。重要施策についてまた予算案について本当に話し合いをされて子供達のことを考えて作っていただいたものと思っておりますので、しっかりと受け止めさせていただきます。私が今説明を受けた中での率直な考えを申し上げます。私が今説明を受けた中での率直な考えを申し上げます。私が今説明を受けた中での率直な考えを申し上げます。またこれから委員皆様方のご意見をお伺いしていきますので、私も甘んじて予算方針を出させていただきますし、重点施策を聞いた中でしっかりと厳しい意見でも聞きたいと思っていますので忌憚のないご意見をいただけますよう、お願いいたします。

それでは、ご意見のある方はお願いいたします。

佐藤委員 情報化に対応したICT利用環境の整備について、ギガスクール構想によりICT教育環境の整備が進められ、昨今の状況から、より早まってオンライン学習が可能になるのも近いのではないかと考えます。ハード面の整備ができれば次は児童生徒の端末の使用に関わることや教職員の研修などのソフト面が大事になってきます。それに合わせて関連する教材等が必要になってきますので、その購入についても来年度予算の中でよろしくお願いしたいと思います。

中村課長 皆様とも何度か協議をしてギガスクール構想で児童生徒の一人一台の端末を配備は着実に進めております。来週の議会でこの端末を購入する契約を議案として提出させていただきました。工事については契約が完了し、その議会で承認していただければ、具体的に進めていきます。子供たちのオンライン学習を開始するにあたっ

では、まず、先生方がオンライン学習をどういう形で取り組んでいこうかと研修していただくことが先じゃないかという議論もあった中で、千葉工業大学と睦沢町の包括協定により、千葉工業大学で研修会ができることのお話をいただきました。これにより我々もその話を進めさせていただいて、現在、千葉工業大学と小学校にＩＣＴに詳しい先生がいますので、小学校と中学校共通の窓口として、今、千葉工業大学と来月から研修会ができるように日程調整を進めております。１月からスタートする予定ですが、まずは１月から３月まで何回できるかとの話が始まっていますが、研修会については、まず先生方から始まります。またギガスクール構想推進事業のメニューの中で、児童生徒の端末の使い方や、先生方への研修などの経費を含めておりますので、色々な形の研修会が先生方にも児童生徒にも開催できると考えております。来年度のＩＣＴ関係に関するソフトの部分については、これから学習教材などのソフトの購入が始まっていく訳ですが、まだ実際に学習用教材のソフトについては、例えば大手が作っているようなソフトや、既にオンラインで見られるようなソフトなど、いくつかありますが、この辺りについては、まだ担当者レベルですが、学習教材については共通のものとして長生管内で統一したものが整備できないかと話をしているところです。まだ、それぞれの各教育長、首長にはその話を具体的な形としては届いていませんが、少しずつその話を進めています。準備するのは自治体ですが、それを実際に使うのは先生方になりますので、先生方がどこの学校に行っても共通の教材のソフトであればスムーズに運用できると思いますし、子供達にとっても差がつかないように進めていこうと、その話し合いを進めていく考えでおりますので、実際にまだ教材ソフトをどの様なものを整備していくかというところまでは進んでおりませんが、その検討をするための会議を来年度はじっくりやっていくとの考えでおります。

飯塚委員　今まで町がやってきたロードレースや睦和大学とか青少年活動とかなくなって非常に残念だと思います。ただコロナ禍でどうしようもないかなとも思いますが、学校が劣化し、雨漏りが酷くなったりしているので、せめて学校だけでも過ごしやすいように、特に中学校が酷くなってきているので、予算がない中でも壁や廊下を修繕していただけたらと思います。

田中町長　子供たちの環境が最悪のまま、卒業するということは、町としても保護者としても望むところではないと思いますので、予算がない中でも修繕で少しでも快適に過ごせるように対応していきたいと思っております。中学校でトイレが臭いという思い出しかないとの声もあって、また防災の拠点でもありますので、コロナ対策の臨時交付金でトイレの洋式化を今、進めています。工事は終わりましたか。

中村課長 中学校は終わり、1月から小学校に入ります。

田中町長 その様に進めているので、環境作りについては、私としても教育だけの問題でなくて管理をする町側としても細心の注意をしていきたいと思っています。また事業に関して減額するから中止でなくて、コロナが終息しない中でコロナ対策というところもありますが、できれば予算がないという話だけでなく、建設的な話を前向きに進めているところであって、少しでも税収が上がるように、この地域の環境の良さであったり、グリーンラインができることも構想に入れ、誘致条例であったり、小さい会社でもこの町で事業を起こしてもらえるようにしていきたいと考えています。また課長から話があった通り、千葉工業大学との包括協定を有利に結び付けるように色々なところで、連携また協定を結んでいこうと思っておりますし、少しでも建設的に税収につながるように、ふるさと納税のあり方も変えようと思っておりますので、なるべく少しでも今まで以上に子供達に対する予算が付けられるように努力していきますので、ご理解を賜りたいと思います。

今井教育長 壁の話が出ましたが、中学校の壁は町長の肝いりで既に始めています。商工会青年部の皆さんのボランティアにより、壁塗りをしています。私たちもできる範囲で応援しようと思っております。来年度の小学校の壁については予算を付けていますので、少しでも快適に過ごしやすいようにしたいと思っております。

芝崎主査 修繕のお話が出ましたが、本年度は修繕が難しい状況でした。来年度は学校からの要望を考慮し、微増ですが修繕費を増額しております。行う箇所については各学校かの要望に優先順位があり、順番に行いたいと思っておりますが、小学校は雨漏りが酷いので、雨漏りの修繕を重点的にやらせていただきたいと思います。中学校は照明の修繕を中心にやっていきたいと思っております。

藤原委員 重点施策に校務支援システムの充実とありますが、先生が通常の業務に加えて、ICTの環境を整えていく中で、それに対応した授業を考えたり、今回のコロナ対策であったり、大変なことが起きてきます。もっと校務支援システムが充実してくると、欠席の連絡も今は電話対応ですが、先生が電話にかかりきりになってしまうもの防げます。この部分が構築されてくると先生が時間をかけることなく、この子が欠席なのか一目瞭然になります。これは早めに、町と教育委員会が協力していいシステムを早めに揃えていただきたいと思います。

芝崎主査 校務支援システムについては、一定のシステムを学校に入れてあります。これは先生がパソコン上で通知表や要録など、事務に使うものをシステム化しているところ です。学校から学校日誌や保健関係の要望がありますが、今回は予算の都合上、計上

することができませんでしたが、保健関係については、定かな情報ではありませんが、来年度あたりに国で一括してシステム化するという情報があります。これに校務支援システムを利用するという話があり、何らかの補助事業が出てくる可能性もあるので、取り組んで行きたいと考えています。

中村課長 町長へのお願いになりますが、校務支援ソフトを使うのは先生ですので、先程の教材ソフトもそうですが、もしクラウド化が推進できると、先程の学習支援ソフトもそうですが、長生郡市内でどの学校に異動しても同じものが使えるのが先生方の働き方にとっても一番理想的だと思います。首長同士で教育について話題が出る機会がありましたら、そのような声を出していただけると、先生方にとっても優位になると思います。先生方も遠慮している部分もあると思うので、よろしくお願いします。

田中町長 共有できるものは長生郡市内で共有していきたいので、現状の使っている小中学校の校務支援システムをほかの市町村でどれだけ使われているのか、私がイニシアチブを取っていけるシステムなのか、他が既に導入しているものか、その辺りの情報をあとでまとめていただきたいと思います。

中村課長 現在、校務支援システムを導入している自治体は少ないです。しかしながら、これから導入の見込みはたくさん出てくると思います。メーカーは違っても、何年か経って契約が切れるタイミングで、もしクラウド化することができれば、共に参加してもらえる方法が取ればよいのかなと思います。長生郡市で一斉にスタートはできないと思いますが、クラウド化されていれば、そのタイミングで参加することが可能になるといいますので、その辺りを調べたいと思います。

田中町長 この校務支援システムについて、佐藤委員からもありましたが、先生は使いこなせる状態にありますか。

中村課長 今年度から小学校に転入された先生で、前の学校で使っていた校務支援ソフトが本町と同じメーカーで、そのソフトをどんどん使える先生だったので、学校内で更に先生方に研修をしたりすることで、校務支援ソフトの活用頻度が上がり、これまで以上に活用されているという報告は受けています。中学校については、使いづらいとの情報はありますが、上手に使っていると思います。小学校は少し停滞していましたが、その先生のお陰で一気に活用が進んだというところです。

田中町長 利用することによって、働き方改革の一端を担っている情報をもらえれば、私も他の首長にやろうよと言いやすいので、どの市町村が同じメーカーなのかななどの情報をいただけたら、一緒に進めていきたいと思うのでよろしくお願いします。

久我委員 町が行ってきた文化的な事業が、来年度に関しては取り止めるという形になって

いますが、コロナの影響で止めていくものと、緊縮で止めていくというところがありますが、令和4年度にかけて緊縮でそのまま開催しない方向でいくものなのか、コロナが収束した後には開催していけるものなのかというのを、町でしっかり把握して見通しを立ててもらいたいと思います。それとICTを活用した学習の機会については、具体的に子供達に機会を設けるというのは、どのような機会でしょうか。実際に各子供達にパソコン1台ずつ渡す訳ですね、教育の機会としてどういう機会を使っていく形になりますか。

田中町長 各事業の緊縮なのか、コロナなのかについて、考え方をお話しさせていただきたいと思います。観月の夕べや、ロードレース大会については議会の中でも議論がありましたが、この町の事業として好ましいということで継続しております。議員の中には反対の方もいらっしゃいました。ですが、私は事業自体を否定するものでなく、例えばロードレースであれば、子供達が金メダル選手と一緒にハイタッチをしながら走れたりとか、その苦労話を聞いたことに対して、スポーツを通じて興味を抱かれる子供たちの育成にもつながると思いがあったので、これはできれば継続したいと思っております。観月の夕べコンサートについては大自然の中で人気がだんだん出てきている状態でもありますので、これについては町内の人達に聞いていただけるような取り組みをしていきたいと思っているところです。ですので、これはコロナの影響で来年は見直すということです。背景には緊縮もあるので、事業を削減することが緊縮の一つの対応策になるのは事実ですが、今の段階でも私が色々な企業の幹部の人と話をしていて、そういう事業についてバックアップをできると言っている企業もあります。それはマラソン大会をやるから近隣の企業に寄付をもらうのではなく、事業に対して賛同し、その事業に対して応援したいという声をいただいている企業もありますので、この1年間をかけて、このコロナ禍での大会の運営の仕方等を検討しながら、その再来年度に関しては、コロナ禍での新しい大会のやり方を模索した中で実行する方向に持っていきたいと思っております。来年度に関してはコロナの影響による対応がどういう状況でできるか分からないので、来年は中止ということで私は受け止めています。その次の年度は是非ともやっていきたいので、予算については確保する活動を私個人としても、町としてもやっていきたいということで、ご理解をいただきたいと思います。ICTについては事務局をお願いします。

中村課長 このギガスクール構想は、令和3年4月より、小学校1年生から中学校3年生までがオンライン学習できるようにと始まったものではありません。当初の考えは、令和3年度は小学5年生と6年生、中学3年生に整備し、そして他の学年は、その後の3

年間の計画で、最後に小学生1年生、2年生に整備するということで始まったものです。4月、5月の完全休業に対して、学習が遅れると文部科学省が判断し、家庭でも学習ができるように今回、全ての児童生徒に揃えることとなりました。小学校1年生から中学校3年生までが一斉にオンライン学習が始まるかとなると、その準備は文部科学省も学習プログラムをそこまで作ってありませんので、実際の活用となると、色々なことをこれから更に計画していかななくてはならないと思いますが、プログラミング教育というのは始まっています。また小学校では理科の授業であったり、中学生は自分の進路を調べたり、色々なところで、既に子供達はパソコンを使っています。

芝崎主査 小学校と中学校に昨年度にクロームブックというパソコンをパソコン教室に導入しました。今年度に導入するパソコンについてもクロームブックです。従いまして小中学校の授業で既にクロームブックを使って、色々な検索とか、中学校ではプログラミング教育でロボット教材を使ってロボットに指示をパソコンで出すというような授業も行っています。学校ではある程度パソコンに慣れてはきているのかなと思います。まだオンライン学習ですとか、これからパソコンを使って授業を進めていくところまでは至っておりませんので、これからギガスクールサポーターや千葉工業大学の協力をいただいて進めていきたいと思っています。

今井教育長 パソコンが入ること自体がこれからの情報化社会で重要視されている訳ですが、学校の中では将来的に考えれば、パソコンがノートに替わるものとして常時持ち歩くこととか、それから情報収集の大きな情報元になるという発想があると思います。全ての教科で使い続けることなるかどうかについては、現状では視力の低下も含めた健康被害も考えられるので、その対策もとる必要があるので不確定です。これからの子供達には、パソコンの使い方やプログラミングを学ばせるということですよ。論理的な思考力や、論理的に進めていく学びもあるんですね。論理的な思考力を付けるのがこの学びだと言われ、それもしていかなければならないと思います。過日の横浜市の研究の中で、プログラミング学習とノートによる学習の違いがあって、やはり読書にしても理解力にしても、紙に書いたほうが良いとの事実が成果として出ていたとの報告がありましたので、まだまだ課題があるのかなと思います。しかし、今、私達ができることは、どこでもやっているから、うちもやろうではありませんが、プログラミング的な思考力というのは大切だと思っていますので、きちんと捉えていかなければならないと思っています。ただ健康被害の問題についても、しっかり向き合って対策を立てるのが必要だと思います。これは費用がかかることかもしれませんが、皆で考えながら、長時間使うかどうかも含めて考えていくのが必要だと思います。

久我委員 今回のコロナ禍での休業があったことでこういう形になったということですよ。そうすると、オンラインでの授業をまず考えないといけないと今後なってきますか。

今井教育長 飽くまでも私達是对面の学びが一番だと思っています。パソコンを使うにしても。オンライン学習が全てでないと思っています。例えば衛星放送の大学受験があります。ここの大学に行くために、目的を持ってオンラインで学ぶわけですが、義務教育の段階では、ただ見てなさいだけでは、学びにならないと思います。例えば、オンライン学習しながらでも指導者が付くなり指摘する支援員が付かなければ、義務教育の段階では難しいと思っています。飽くまでも非常事態の場合の緊急の避難措置としてのものであると思います。ギガスクールが前倒しになったのもそれが理由だと私は思います。

久我委員 基本的には緊急時のためにオンライン学習ができるということで整備していくということですね。今回のような感染症や、何らかのことが起こったときにオンラインで学習していくということですね。これは日本全国的にそうですか。

今井教育長 日本全国ではないと思います。当初のギガスクールを進めるときは3年計画の中では小学5、6年生、中学3年生からという発想でしたが、一斉に導入することになりました。ただ、本町はネット接続できる家庭が100パーセントではありませんので、持ち帰っても使えないので、何とか使えるようにルーターを貸すとかであれば、先に小学5、6年生、中学3年生からという話はできると思います。

久我委員 ルーターを貸すとか学校に来てもらうとか、有事のときに備えてどのようにするのかを今のうちから考えないといけないですよ。あとはオンラインで同時の時間帯で発信して学ぶ訳ですが、それを後からでも学べる形がとれた方がいいと思います。ネットで動画配信して、残して後から学べる方法もあるので、いろいろな方法で子供たちが学べるようにしてもらいたいと思います。

今井教育長 それは十分、考えていきたいと思います。

藤原委員 今のお話の中で、4月、5月は一斉休業となり、そのときに学びが止まるから、国がオンライン学習を進めていこうという形で前倒しになりましたが、もし感染者が小中学校に出た場合に本当に全部授業を止めるのか、登校していいのか分からない状況の中で、中学3年生は受験を控えたタイミングになってくるので、すぐに対応できる対策を取っておかないといけないと思います。例えば来月に感染者が出たときに、どの様にパソコンを活用していくのか、中学3年生だけにするのか、新1年生だって漢字を覚えなければならないので、今からでも話し合って、ある程度の段階を決めておかないといけないと思います。今も感染が拡大していて児童生徒の中に出て

くるかもしれない、クラスターが出たときにその学年だけ止めればいいのかとか、兄弟がいる場合は不安にもなります。パソコンの扱いは入手した段階で決めておかないと、パソコンを揃えましたが使えませんでしたになってしまう。学びを止めるのは一番避けなければならないので、対策を考えないといけないと思います。

田中町長 コロナ対策については、役場や教育現場で感染者が出た場合のフローチャートは確立されています。先程のお話の通り、この間のアンケートでルーターがある家庭は7割位で、あとの3割はルーターがありません。そこはしっかり対応してすぐ貸出できるように対応すべきですね。

藤原委員 その3割だけが登校できるのかというと、健康上登校しない方がいいのか、線引きも出てくると思うので、ルーターを貸し出せない場合は、例えば別の場所で学びが受けられますとかの対策を考えていかないといけません。

田中町長 コロナ対策のフローチャートは出来ているけども、実際の学習のフローチャートとか学習対応とか、休業時の学習の部分はまだ想定されていない。

今井教育長 再び休業となったときに、どのように学びを保障するかとの具体的なことについては、まだオンラインで学習できませんので、この春に実施したような形になると思います。まだ分かりませんが、郵便局と話し合いを進めていて、配付する形ができるように検討はしています。

藤原委員 学校にプリントを取りに行くとなると、時間が重なって接触するタイミングは増えてしまうので、そこも考えていかないといけないと思います。

田中町長 そこは更に検討していただけたらと思います。
中学校のパソコンは何というソフトが入っているのですか。

芝崎主査 eライブラリーです。

田中町長 この前、中学校でPTAの広報委員の集まりがあって、パソコン教室でパソコンを使わせてもらって、印刷しようとしたのですが、普段家とかでパソコンを使っている大人が5人位いても印刷が出来なかったことがありました。そのときに思ったのが、教育のソフトは教育だけに特化しているような、制限がかかっているように感じました。家庭や職場で普通に使える感じのパソコンが同じように学校で使えればいいと思いますが、そのときは結局印刷できなくて、先生方を呼んでもできなくて、職員室に持って行って印刷してもらったことがありました。一般的なパソコンに学びのソフトが入っているって思っていたんですが、使い勝手が悪いように感じました。

芝崎主査 先程、既にパソコン教室に入れてあるものと、これから納入されるものはクロームブックというものと説明させていただきました。このクロームブックは、よく使われ

ているウインドウズとは、少し違いまして、例えばウインドウズでワードを使うことは皆様もよくあると思いますが、クロームブックはワードとは別の名前で同じようなソフトがあります。使い勝手は、それほど差はないと思います。エクセルも別の名前で同じようなソフトがあります。そのクロームブックは長生郡市内でもこれから多く納入されていきます。今現在は使い勝手等分かりにくい部分もありますが、これからはこれが一般的になってくるのかなと思っています。

田中町長 学校以外の一般の世の中のパソコン環境も、それに替わっていくのですか。

芝崎主査 恐らくクロームブックはこれから伸びていくと思います。転換期でもあると言っているかもしれません。ただ印刷できなかった件は、私もそのパソコンを確認しないと何とも言えないところです。

田中町長 そのときは、誰も印刷ができませんでした。学びで使うパソコンが、一般の世の中のパソコンと同じソフトがではないのかとか、学校だけが使うソフトなのはどうかと感じたので、そこはどうなっていますか。

若菜主査 パソコンソフトの互換性はソフトによっても異なり、様々です。互換性がないという訳でなく、他のパソコンでも言えることですが、互換の方法が異なっている、だいたい使い方が同じであればよいと思っています。

佐藤委員 こども園関係の幼児教育・保育の保持についてですが、こども園については幼児教育無償化に伴いまして、園児の在園時間が大変長くなっていて、1日11時間、朝の7時半から夜6時半まで利用する園児が増加していくと聞いています。また3歳未満児については、先程お話があったとおり、既に予定している定数を超えているとの話もあり、部屋のスペースもそうですが、乳幼児についてはそれにかかるより多くの職員が必要になるわけです。現在、こども園は大変多くの会計年度任用職員の力を借りながら運営しています。正規職員がもっと増えればいい訳ですが、今年要綱を見ますと、保育教諭と保育補助で12人の会計年度任用職員が入っています。来年度につきましても、これらの人たちの力が借りられるように待遇面、或いは賃金等へのご配慮を是非よろしくお願いします。応募がないと運営自体が大変なことになります。

田中町長 その件は、しっかりと承りたいと思います。私立との違いで、私立の幼稚園やこども園は初任給が高かったりすると聞いています。永く勤めて公立のこども園に勤務して良かったとなると誇らしいので、応募して来ていただけるようなところも検討はします。賃金でできなければ、その分の福利厚生面で対応できればと思いますが、十分意見として承ります。

藤原委員 むつぎわ米を利用した学校給食の提供について、今、小学校で月1回にアンケート

を実施していて、朝食をとっていますかや、何を食べましたかとか、睡眠は何時間で
すかなどを聞いています。1 回目は朝食を食べてこない児童が何名かいました。安全
でおいしいむつざわ米で、給食がおいしかったと印象に残るような、むつざわ米の提
供を引き続きお願いします。

田中町長 ありがとうございます。

久我委員 学校等におけるコロナ対策ですが、こども園は新型コロナウイルス感染症対策の
検温とありますが、園にて検温するのでしょうか。

中村課長 こども園、小中学校共に休業が終わって再開し、毎朝、健康観察カードというもの
を作り、それによって登園登校時に健康状態を把握することを現在でも毎日実施し
ています。

久我委員 自己申告ですね。

中村課長 そうです。

久我委員 検温は園に検温機があつて園でしているのですか。

今井教育長 こども園は登園したときに全員検温しています。未満児は親御さんが部屋まで連
れて来ますので、検温してもらっています。

久我委員 小中学校の児童生徒向けに検温機を導入する予定はありますか。あるなら学校内
で自分で検温することはできますか。

芝崎主査 小中学校共に検温機が3 台ずつ位ありますので、確認できます。

久我委員 サーモカメラで見られるものはありますか。

芝崎主査 町内の企業からサーモカメラを寄付していただき、またコロナ対策の臨時交付金
によりサーモカメラを設置しました。

久我委員 体温の変動もあると思うので、学校に居ても体温が上がれば分かる状態になって
いますか。

芝崎主査 分かるようになっています。

久我委員 子供達は授業中はマスクをするようにどの学校でもなっていますが、あとは換気
をどのようにするのか。学校によっては、常時窓を開けてエアコンを使用しているところ
もあれば、閉めていて加湿をし、休み時間に開ける様に学校により様々です。先週
の歯科医師会の会議でも話題になりましたが、窓を開けたままエアコンを使用すると
コストもかかると思います。緊縮ですが、各教室に加湿器が揃っている学校もあり
ます。授業中は窓を閉めて、休み時間に開ける様に。睦沢町はどのように対策する
か取り決めはありますか。

芝崎主査 教室内の換気については、感染症対策ガイドラインを作成し、そこには可能な限り

常時2方向の窓やドアを開けて換気を行い、休み時間に大きく開放して十分に換気を行うとなっています。このガイドラインでは授業中でも少し開けて換気することになっています。空気清浄機についてはコロナ関連の補助金がありましたので、各教室に1台ずつ購入予定です。加湿機能も付いていると思いますが、確認します。

藤原委員 中学校は既に加湿器があるみたいですが、管理が大変みたいで、窓にスプレーして加湿していると聞いています。

岡本主幹 換気ですが、小中学校共に対角線になる窓やドアを少し開けています。休み時間は窓を大きく開けています。

中村課長 近隣ではありませんが、教室内に濡らしたタオルを下げて加湿している学校もあると聞きます。

田中町長 今日はこども園で発表会がありましたが、保護者が入れ替わるときに、窓を全開して上の扇風機を回して、換気に気を使っていると感じました。それぞれガイドラインを作って対応していると承知しています。

飯塚委員 各種検定について、町で検定料を補助していただけると保護者も関心を持ちますし、進学するにあたって、検定を持っているかも重要視されていますので、引き続き検定料の補助をお願いします。

芝崎主査 検定料の補助については来年度予算にも計上していますが、ただ実績に応じて多少の減額はさせていただいております。英検と漢検が補助の対象です。

田中町長 今年度は受けた人が少なかったと聞いていますが。

今井教育長 少なかったです。

飯塚委員 大学では、英検を持っているかとよく聞かれます。小さいうちから上を目指せるようになってもらえればいいと思います。

田中町長 ほかに何かありますでしょうか。

色々なご意見、ありがとうございました。

次の議題（2）その他に移りますが、皆様から何かありますか。

特にないようですので、進行を事務局に戻します。

岡本主幹 ありがとうございました。これを持ちまして令和2年度第2回総合教育会議を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。

【 15時2分 閉会 】